

自立支援部だより

～みんなで考えよう 特別支援教育の専門性～

第3号 2023年10月31日
兵庫県立むこがわ特別支援学校

11月に作業療法士の訪問指導日があります！

1学期に指導頂いた中から、具体的なアドバイスを紹介します。

お箸の指導

その前に・・・鉛筆を3指握りで動かしていますか？
指先を使ったつまみができますか？
はさみの連続切りが15cm程度できますか？

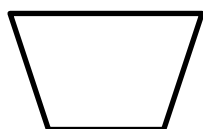
アドバイス

- 1 箸でつまむ練習には、球体のフェルトボールよりも四角いメラニンスポンジや消しゴムの方がつまみやすい。最初は簡単なものから、段々、色々なもの、形、重さのものをつまむ練習を。
- 2 エジソン箸から普通の箸へ移行する時には、割りばし（四角いもの）を使用するほうがよい。四角い箸で四角いものをつまむのがやりやすい。
- 3 ハンバーグを切る、魚をほぐすような動作には、箸先を開く動作が必要。丸めた紙やアルミホイルを箸先で開く練習も。
- 4 エジソン箸から普通の箸への移行は可能。上がつながっているトング状のものは、移行しにくい。

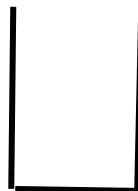
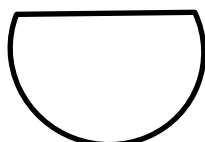
スプーン

お皿の形状

難しい



やさしい



深めの器は、手首を使う練習になります。

えんぴつ・・・筆圧が弱い

アドバイス

- 1 鉛筆の前に、低学年などは、太いマジックを握ることから。
- 2 3指持ちの練習には、薬指と小指でスーパーボールやビー玉を持つことも有効（箸でやってみる場合は、エジソン箸の間に）
- 3 筆圧の弱い中学部生徒には・・・
くもんの三角鉛筆など太くて持ちやすいものを
下側が浮いているので、紙やすりをしく
ダブルクリップをはさみ、人差し指をのせる。
（鉛筆持ちの基本は、親指と中指で鉛筆を持ち、人差し指はのせる感じ）

感覚・・・鈍？過敏？

鈍 激しい揺れが好き、くるくる回る（前庭覚系）、つま先歩き（固有覚系）の子たち

感覚刺激が足りていない→ブランコやトランポリンでたくさん遊ぶ方がよい。（危険には気をつけてくださいね）

過敏 身体の大事なところ（お腹、口、手の平、足の裏、頭皮など）は、触過敏が残りやすい。だから、手袋や靴、靴下を脱ぐ子が多い。感覚受容器が多い部位。

★服を噛むのをやめさせたい

アドバイス①歯磨きを電動歯ブラシにして、刺激を入れる。（お家で）

②かみかみグッズを用意する。（ホースや人工芝もよいが、お家の了承を得てから）

③バケットの固い端やするめ、こんぶなどをおやつに。

★「そーっと」「ゆっくり」難しい

固有覚は、筋の中に受容器があり、筋肉が伸びたり縮んだりを感じている。ここが鈍い子たちは、「そーっと」や「ゆっくり」が難しい。メモリが0か10。

アドバイス①ボーリングのペットボトルを空や水入り、ボールも重さの違うものを用意。力の加減が必要なもので、メモリを作る。

②輪投げの輪も重さの違うものを用意（ホースの中に粘土を入れたら重い）物運びも、空き箱、重いもの、重さのコントラストをつける。遊びの中で。